

OSS コミュニティにおける開発者の活動継続性を理解するための Politeness 分析

宮崎 智己¹ 伊原 彰紀^{2,†1} 大平 雅雄¹ 東 裕之輔¹ 山谷 陽亮¹

概要：オープンソースソフトウェア（OSS）開発はオンラインでの非対面コミュニケーションを通じた協調作業を基本とする。OSS コミュニティに参加する開発者が快適に継続的に活動を行うためには、開発者がお互いを配慮するためのコミュニケーション上の工夫（本研究における Politeness）が必要になると考えられる。本研究では、Politeness を定量化するためのツールを用いて、OSS 開発における膨大な量のコミュニケーションデータから Politeness を数値化し、開発者の Politeness と活動継続性との関係を分析する。Apache HTTP Server および Python プロジェクトを対象とするケーススタディを行った結果、開発者自身の Politeness と活動継続性には一定の関係があることを確認した。本研究で得られた知見は、開発者の離脱を予防・阻止するための方策を立案することに役立てることができる。

本招待論文は、情報処理学会論文誌に掲載されました
「OSS コミュニティにおける開発者の活動継続性を理解するための Politeness 分析」 [1] についてご紹介いただくものです。

参考文献

- [1] 宮崎智己, 伊原彰紀, 大平雅雄, 東裕之輔, 山谷陽亮: OSS コミュニティにおける開発者の活動継続性を理解するための Politeness 分析, 情報処理学会論文誌, Vol. 59, No. 1, pp. 2-11 (2018).

¹ 和歌山大学

² 奈良先端科学技術大学院大学

^{†1} 現在, 和歌山大学